

2022年度 第3回企画環境委員会 議事録

- 【日時】 2022年9月29日(木) 13:30 ~ 17:00
【会場】 ハイブリッド会議(日本代協 事務局会議室、Zoom)
【出席者】 松本委員長

北海道	広川	北東北	伊藤	南東北	佐々木	上信越	片桐
東関東	五木田	南関東	大久保	東京	西條	東海	井戸
北陸	川尻	近畿	是洞	阪神	中塔	東中国	阿部
西中国	村松	四国	開出	九州北	麓	九州南	田中

- 【オブザーブ】 小俣副会長
【事務局】 小見常務、大谷部長 【司会】 広川副委員長 【議事録】 事務局

【委員会の要旨(確認、決定したこと)】

1. 10/25 開催「リスクマネジメントセミナー」の集客。
2. 「ジギョケイセミナー」(オンデマンド配信)の視聴推進。
3. 次回委員会開催日 1/30(月)に変更。

議 事

. 挨拶

1. 松本委員長挨拶

- ・お忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。前回リアルで開催できたので今回もと思っていたが、残念ながらハイブリッドでの開催となってしまった。コンベンションもリアルで開催されるので次回以降はリアルで会えることを楽しみにしている。
- ・各地で台風被害が発生しており、被害のあった地域は大変かと思うが、このような時こそ保険代理店の役割が発揮される時でもあるのでしっかりと対応していただきたい。
- ・8月5日の全国一斉Zoomミーティングには多くの方が参加され、耳の痛い意見もあったが現状が理解できたので、いいステップだったと考えている。コロナ禍ではあったが、新しい取り組みは伝わりにくいのだと痛感した。
- ・昨日上信越ブロック協議会に出席したが、リアルで伝えることの重要性を実感したので、各地でもスケジュールが合えば参加させていただきたい。
- ・8/30のジギョケイセミナーは最終288名の申込(230名の参加)があった。アンケート結果については後ほど紹介があると思う。
- ・企画環境委員会はこの1、2年で取り組むことが大きく変わってきているが、引き続き不公正募集等の情報を集めることは諮問事項の一つでもある。しかし、これまでと比較して件数が少ない(ある意味いい事ではあるが)ので、情報は情報として挙げていただきたい。
- ・保険会社戦略とのギャップについても、手数料ポイントの更改時期であったこともあり、何かの情報が上がってくるのではと思っていたが今回は上がってきていない。もしかしたらコミュニケーション不足があるのかもしれないので、こちらについても情報を収集していただきたい。

2. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に広川副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

. 報告事項

1. 報告事項

(1) 第4回 理事会報告

事務局より、配布した第4回理事会議事録の内容に沿って説明が行われ、以下補足をした。

- ・審議事項「2022年度表彰者の選定」「第11回コンベンション企画案」「損保大学課程コンサルティングコース(2023年4月開校予定)受講者募集のブロック別目標数」「日本代協アカデミーの改定の方向性」「第20回国際オートアフターマーケット EXPO2023への協賛」につき審議が行われ承認された。
- ・事業計画進捗状況について、地区担当理事・各委員会委員長より報告があった。

(2) 第2回全国会長懇談会報告

事務局より、配布した第2回会長懇談会次第の内容に沿って説明が行われた。

松本委員長から、グループディスカッションについて下記補足があった。

- ・グループディスカッションでは、事務局体制、コミュニケーションの体制がばらばらであり、そこが充実しているかが問題となった。規模の大きめのグループだったので比較的事務局がしっかりしているとのことだったが、業界としてITリテラシーが低い傾向があり、そこを高めていき、システムを活用していくことが重要ではないかと感じた。

(3) 2021年度第1回「活力研」報告

事務局より、7/21に開催された「活力研」について報告が行われ、以下補足をした。

- ・今回は、「正会員実態調査結果による、代手ポイント変動のチャネル分析」「火災保険基準代手率変更に関する対応」「ドライブレコーダー特約の推進を題材として、保険会社と代理店のコミュニケーションギャップの解消を考える」の3つのテーマで論議した。日本代協HP会員専用書庫に公開済みの議事録と資料ならびに報告動画を掲示してある。

(4) 前回委員会の振り返り

前回の企画環境委員会論議内容、決定事項を議事録で確認した。

・審議事項

1. 募集現場の実態のモニタリング

4件の不正募集(ディーラー4件)案件を共有し、案件を提出した委員より補足があり、現地に対応した旨(確認中)報告があった。

- ・委員より事案の補足があり、いずれも現地で対応した旨報告があった。

事務局より、秋田市市民相談センターの特定修理業者に対する見解についての報告があった。

(松本委員長より補足)

- ・秋田市市民相談センターからの保険会社や代理店が有事の際に情報発信をしているのかという意見はもっともなことであると思うので、特定修理業者にメスを入れていく一方で我々も襟を正さねばならない。
- ・保険会社との戦略ギャップの問題、共通化・標準化については情報がない。集めればよいというものではないので、なければ無いで良いと思うが、問題意識を持つという姿勢は必要なので、引き続き情報収集をお願いしたい。不正募集事案についても同様である。

2. 全国一斉Zoomミーティングを受けて

松本委員長より

- ・コロナ禍における新しい取り組みでもあったことから、価値向上については十分伝わっていなかったのではないかと感じた。
- ・皆さんにはグループディスカッションのリーダーをして頂いたが、議事メモに書ききれなかったこともあると思うので皆さんが感じた事を聞かせていただきたい。

各委員からディスカッションの感想報告があった。

- ・各県代協の委員の方が想像以上に取り組みの意義を腹落ちしていないと感じた。そこを引き上げて同じ目線で推進していかなければならないし、もっとかみ砕いて説明するようにしない

といけない。時間の都合がつけば、松本委員長にブロック協議会等で説明いただくと効果あると思う。

- ・取り組みの難しさによりハードルが高いと感じており、取り組み課題が多く優劣をつけるべきだとの意見が多かった。
- ・ジギョケイは保険会社(損保系生保)が積極的に取り組んでいるので連携すると取り組みが進む。
- ・リスクマネジメント講座はアカデミー登録会員が少ないのがネックになっている。教育委員会との連携が必要。
- ・社労士診断は顧問社労士の認識不足、報酬金額の格差がネック。
- ・会議に参加された方はやるべきことを認識していたと思うが、それをどうやって会員に伝えていけばいいのかを悩んでいる。
- ・有意義な会議であり今後も続けていただきたい(他ブロックとのディスカッションもしたい)。
- ・まずは、企画環境委員が取り組みそこから展開していこうと思う(トップレベルを上げていく)。
- ・ジギョケイに取り組んでから BCP 作成を推進する順序付けが必要。
- ・直近の災害被害からもジギョケイ、BCP は必須でなはいだろうか。
- ・やろうと決めたことをどうやってやるかの意見交換をする場であり、足を引っ張る場ではないと思う。
- ・ディスカッションの時間が長いと感じていたが、終わってみるとちょうどよい長さだった。
- ・昨年ジギョケイ目標達成した神奈川県代協ではセミナー開催後の細かなフォローを行っていた。
- ・全国会議に参加された方にも情報が伝わっておらず、温度差を感じた。

松本委員長から補足

- ・皆さんから報告いただいたことは、業界の実情であり根深い問題だと思っている。
- ・情報提供産業なのに情報を入手しないでどうするのか？それに対する投資意欲が低いのではないか？
- ・これだけ環境変化しているのに、積極的に変化しようとしている人が少ないと感じる。環境変化に適応し、変化できなければ、業界自体が衰退していくことに繋がるため、意識変革を行い、変化する事によって魅力的な業界にしていかなければならない。
- ・全員が一気に変わることは難しいが、少しずつ変わる人が増えて、それが当然のことになれば業界も変わっていけると思う。

3. 代理店の価値向上策(ジギョケイおよび BCP 作成推進)について

広川副委員長より昨年度の振り返りと、今年度の取り組みについて報告があった。

- ・各代協役員から認証取得して、広げていければいいのではないか。
- ・経産省、保険会社などと連携したセミナー開催により周知していただきたい。

各委員の認証取得状況(予定)をヒアリングした。

- ・ほとんど取得済であり、未取得の委員も年度内取得予定。

松本委員長より

- ・皆さん認証取得されていますが、これが代協のスタンダードになればいいと思う。
- ・セミナーアンケートの結果からも昨年より取得済の会員が増えており、このような活動を繰り返していく中で意識が高い人が一人でも増えていくことが業界あるいは代協のレベルが上がっていくことではないか。
- ・目的は単に数字を追いかけるのではなく、価値を高めることだと理解いただきたい。

小見常務よりジギョケイ推進の背景と現状の説明があった。

4. 代理店の価値向上策(リスクマネジメント講座推進)について

西條副委員長より昨年度の取り組み振り返りと、今年度の取り組みについて報告があった。

- ・10/25 RMCA とのタイアップセミナーを開催(対象 代協役員、企画環境委員、教育委員)。

- ・今年度の課題として、認知度を高める、アカデミー登録の推進(教育委員と連携)。
- ・三冠王の取り組み項目ではないが、必要性が高いので委員自らが率先して受講していただきたい。

松本委員長より

- ・まずは、10/25のセミナー動員をお願いしたい。
- ・アカデミーは4月から新しいシステムに変わるので、もう少し受講のプロセスがシンプルにならないか期待している(次回以降アカデミーチラシにもRM講座のことを記載することを依頼)。
- ・全員に一気に受講してもらうものではなく、少しずつ広げていければと思っている。

5. 代理店の価値向上策(社労士診断認証制度推進)について

開出副委員長より昨年度の振り返りと、今年度の取り組みについて報告があった。

- ・取り組みの意義が腹落ちしていないことが最大のネックである。
- ・社労士診断のチラシを作成しているので活用し役員、企画環境委員に腹落ちさせていただきたい。
- ・ただ、今年度は宣言までなので、比較的目標は達成できるのではないだろうか。理事会、会議でその場で申請していただきたい。

松本委員長より

- ・保険代理店の最も重要な経営資源は人なので、組織化していく中では適切な人事労務管理は必要不可欠である。
- ・ご存じの通り4/1に中小企業にもパワハラ防止法が適用され、働き方改革の推進や社会保険の適用拡大など、人事労務関連法令の改定も増え、さらに人事労務リスクが増えていくことを我々が理解していないと推進していけない。これらを踏まえてお客さまに情報提供することで代理店の価値が上がると考えられる。
- ・また、これから若い人材を増やしていくためには魅力的な代理店経営がなされていないと若者が入社してこない。そのためにも社労士診断を行い、人を大切にする会社になる事は必要不可欠であることを理解していただきたい。
- ・社労士会からは原則月一回認証企業リスト(保険・金融業)を提供いただくことになっているので申請する際に業種の入力を漏らさないようにしていただきたい。

・その他情報提供・閉会

1. 情報共有

松本委員長より下記情報共有があった。

- ・JSA-S1003「保険代理店サービス品質管理態勢の指針」について。
- ・「代理店活動の現状と課題」の冒頭に各章のポイントが記載されているので、毎回企画環境委員会で作成していたポイントは今年度より作成しない。

事務局より下記情報共有があった。

- ・9/26 金融審議会の第1回「顧客本位の業務運営タスクフォース」が開催され、間もなく議事録が公表されるが、ポイントをdirectで連携する。

2. 本日の到達点の確認、次回以降日程確認

- ・次回開催日について1/30(月)に変更。
- ・事務局より、本日の決定事項を再度確認した。

3. 小俣副会長所感

- ・多くの保険会社では上期締めのお忙しい中お集まりいただき、また活発な討議いただき感謝申し上げます。
- ・皆さんはすでに腹落ちされていると思うが、三冠王の数字はあくまで事業計画を定量で見える化しているものであり、委員の皆さんには本来の意味をしっかりと届けなければならないという重要な役割を担っていただいている。
- ・日本代協は戦略を打ち出し細かく実施していく、戦術についてはブロックや各都道府県で推

進んでいただく形になるので、咀嚼してどのように伝えるかを考えていただきたい。

- ・企画環境委員会は足元(直近)の事業の話もするが、その先 2 年後 3 年後に代理店が存在するのか、10 年後に存在しているのかの戦略を立てている委員会であるので、足元と将来の両方を見据えていただきたい。
- ・先ほど来、ディスカッションの中で、少ない募集人の数だから BCP、ジギョケイ、社労士診断は必要ないという意見が出ていたが、逆ではないだろうか。例えば少人数の代理店で誰かが倒れてしまった場合にそのカバーを誰がするのが決まっているのかは BCP に繋がるものであり、BCP は一度作成したら終わりではなく、しっかりと見直してブラッシュアップしていかなければ意味がないことはご存じの通りである。これを、するかしないかで災害の時に大きな差が出てきてしまうのである。
- ・社労士診断についても、今の若い世代は給料だけでなく、いかに働き甲斐を感じる会社なのかを考えている。これをしっかり認識していないと採用募集しても応募すらない、先が見えない業界になってしまうのではないかと危惧している。
- ・業界の質を上げることが我々の事業目的であるので、会員の皆さんに膝詰めで話していただきたい。
- ・最後に、自然災害が多発しており復旧に時間がかかっている地域もあるが一日も早い復旧を祈念している。

以上

次回以降開催日

第 4 回企画環境委員会 2023 年 1 月 30 日(月) 13:30 ~ 17:00

第 1 回企画環境委員会 2023 年 4 月 11 日(火) 13:30 ~ 17:00